

なごや 市民活動通信



2017
11月号
No.60
無料

発行：名古屋市市民活動推進センター

INDEX

特集 名古屋市社会福祉協議会 地域福祉リーディングモデル事業
「地域支えあい活動応援助成」応募団体募集

センターニュース



お寺で1泊2日の宿泊講座を開催!!

第25期災害ボランティアコーディネーター養成講座

9月30日・10月1日の2日間に渡り、真宗大谷派名古屋別院（東別院）において、第25期災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催しました。

第25期目となる今回の講座は1泊2日の宿泊型の講座でした。1日目は、災害ボランティアコーディネーターの役割などの基礎的な知識や、名古屋大学減災連携研究センター長からの南海トラフ巨大地震などへの警戒についての講義で、災害に対する備えの必要性を学びました。夕方からはグループに分かれ、被災者のニーズに合った「人にやさしい炊き出し」と題して、災害現場でどのようなメニューが望ましいか話し合った上で、実際にそのメニューを料理しました。その後は、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を行い、実際の運営の流れを体験していただきました。



夕食としておいしくいただきました♪



幅広い世代の方が参加!

また、2日目は、災害の経験者の体験談から、実際の災害現場の状況を学び、グループワークにおいては、災害対応を学べるカードゲーム「クロスロード」で災害時に迫られる選択についての議論を交わしました。また、平常時にできる取り組みについてのグループ討議を行い、災害ボランティアコーディネーターとして活躍するための知識や考え方などを学んでいただきました。

修了生には修了証を交付するとともに、本市の「災害ボランティアコーディネーター」として登録していただけます。修了生のみならず、平常時における取り組みも含めて、今後の活躍を大いに期待したいと思います!

第26期災害ボランティアコーディネーター養成講座申し込み受付中!!

申込期限は11月10日（金）必着となっております。お早目にお申し込みください。

- 【日 時】平成29年12月2日（土）・3日（日）・10日（日） 【参加費】無料
- 【対 象】名古屋市内在住、在勤、在学の方（中学生以上）で、3日間通して受講可能な方 ※応募者多数の場合は抽選
- 【会 場】愛知学院大学名城公園キャンパス
- 【申込方法】往復はがき又は電子メールに、住所・氏名・生年月日・電話番号・市外在住の方は学校名または勤務先を記入し、お申し込みください。

■ 特集

名古屋市社会福祉協議会 地域福祉リーディングモデル事業 「地域支えあい活動応援助成」応募団体募集

みなさんの身の回りには、日常生活を送るにあたり、電球の交換などのちょっとしたことにお困りの方や地域で孤立しがちな方など、生きづらさを感じている方はいらっしゃるでしょうか。今、そうした方々も地域で安心して暮らしていくため、地域住民による「地域支えあい活動」が求められています。



★「地域支えあい活動」とは★

一人ひとりの生活上の困りごとを解消するための助けあい・支えあい活動(事業)のこと

名古屋市社会福祉協議会(以下「市社協」)では、平成30年4月以降に新規または拡充して行う「地域支えあい活動」に対する助成金(3年間の継続助成)の応募団体を募集します。「地域支えあい活動に取り組みたいけれど、資金不足で…」という方は、ぜひご活用ください。

【事前説明会(Bコース応募団体はいずれかに参加必須)】

日時:平成29年11月30日(木)または12月3日(日)10~11時

会場:名古屋市総合社会福祉会館(北区)

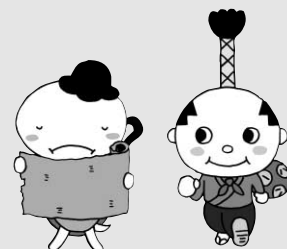
【応募受付期間】平成29年12月5日(火)~13日(水)17時必着(持参のみ)

【審査】●Aコース(助成金額:3年間で上限30万円)

面接審査…平成30年1月10日(水)午後

●Bコース(助成金額:3年間で上限31~200万円)

プレゼンテーション審査…平成30年1月29日(月)午後



詳細:名古屋市社会福祉協議会ホームページ <http://www.nagoya-shakyo.jp/>

問合せ:名古屋市社会福祉協議会 地域福祉推進部(電話:052-911-3180)

* 助成団体には、事業実施中の悩みなどを相談できる個別相談や広報・資金調達などをテーマとした勉強会、助成団体同士の交流会なども無料でご利用・ご参加いただけます。

●「地域支えあい活動応援助成」助成事業の一例

- 学校に行っていない子どもの居場所づくり事業
- サロンを拠点とした住民同士の助けあいの仕組みづくり事業
- 色々な世代が交流できる場づくり事業



●「地域福祉リーディングモデル事業」とは?

「地域福祉リーディングモデル事業」は、市社協が「誰もが安心して笑顔で暮らす福祉のまち名古屋の実現」を目指し、市内に「地域支えあい活動」を広げるために行っている事業です。地域支えあい活動の立ち上げと継続のための①知識や技術を学ぶ講座・②助成金「地域支えあい活動応援助成」・③「①」及び「②」事業利用者のためのフォローアップの3事業で成り立っています。この事業は、市民の皆様からのご寄付を原資とした「名古屋市福祉基金(地域福祉推進・子育て支援基金)」を活用しています。



①市民活動推進センター職員や実際に地域で活動をしている方による、地域で活動を始めるための講義やワークを行う講座を実施



③助成団体同士の情報交換・交流の場などを実施



名古屋市市民活動推進センターのツウな活用方法、教えてください!

当センターがオープンして以来、長らく当センターを活動拠点とされている「いろは日本語の会」さんに、センターの活用の方法についてお聞きしました!



「いろは日本語の会」とは?

日本に住む外国人にボランティアで日本語を教える団体で、1995年に設立されました。現在は、ボランティア教師が30名、日本語学習者が70名在籍しています。「日本に住む外国人に気持ちよく生活してもらうこと」を活動の大きなテーマとしており、学習の場は、学習者同士の交流の場・気兼ねなく日本語で会話できる場・困りごとを相談できる場などとしても機能しています。



センターの活用方法を教えてください!

★学習者の習熟度別に、会場を使い分け。

学習者は習熟度別に9つのグループに分かれています。会議室と集会室を同時に使用し、人数の多いグループは会議室に割り振り、その他のグループは集会室で鳥をつくって学習しています。

★オープンスペースはミーティングで使用。他団体とも交流できる。

オープンスペースでは、学習が終わってから教師同士でランチミーティングを開いて意見交換をしているのですが、同じ日に活動をしている、あやとりの会を主宰している方と知り合いになり、年に1度開催している日本文化を楽しむイベントにゲストとしてお招きすることができました。

★同じ場所で開催することが学習者の継続につながる。

学習者は日本の生活に不慣れな人が多いため、別の会場に変更すると、近くでも場所がよくわからず、安心してこられなくなり、足が遠のいてしまいます。そこで、安定的にセンターで開催したいという気持ちが大きいのですが、施設の利用率が高く、予約を取るのに苦労しています。どうしても会場が予約できない場合は、屋外でのレクリエーションを企画するなど工夫をして続けています。



センターの貸室は、会議室(定員12名)と集会室(定員80名)があるよ。ほかにも、コピー機でとっさの資料の増刷に対応できたり、センターの掲示板で情報発信できたりするよ!ぜひフル活用してね!



8月の設立認証NPO法人

名称(五十音順)	目 的
NJC [昭和区]	関節疾患に対して人工関節置換術を必要とする人々に対し、知識や医療技術の普及に関する事業を行い、関節疾患を有する人々に関わる問題の改善や解決を図り、治療成績と地域、社会の健康増進に寄与する
担 [南区]	援助の必要な障害者・障害児や高齢者とその家族に対して福祉全般のサービスや情報提供を行うこと、及び自らの外出・交通手段を持たない歩行困難な人々(以下、移動困難者という)に対して、外出・移動に関する権利を確保・保障するため、相互に親睦を図りながら社会的に立ち遅れている移動困難者の外出・移動手段の保障に関する事業などの支援事業を行い、社会福祉の向上に寄与する
ハッピーラボ [南区]	一般市民、特に高齢者や子ども達に対して、高齢者とそのご家族等に対する日常生活の相談及び支援に関する事業、保育・育児についての相談及び支援に関する事業等を行い、地域福祉の増進及び子育ての支援を図り、もって広く公益に寄与する
マママルシェ [西区]	子育て中の母親に対して、子育て支援や男女共同参画社会の実現に関する事業を行い、子育て世代の女性の生き生きとした生活の向上を図るとともに、子どもたちの健全な育成に貢献する



8月末現在の所管法人数

★ 認証法人数：846法人 認定法人数：20法人 特例認定法人数：3法人





名古屋市市民活動推進センター 大学生インターンの声をお届けします!

8月から9月までの2か月間、当センターに大学生のインターンが6名やってきました。名古屋市では、東海地域インターンシップ推進協議会を通じて、毎年度、インターンを受け入れています。当センターでは、施設管理や主催事業の準備、業務改善などに携わってもらいました。今回は、インターンのみなさんに、「インターンシップで感じたことやセンターの魅力」についてお聞きしました!



青山 ありささん

活動をされている方からお話を伺うこともでき、自身の見直しにもなり、やりがいがありました。



石川 幸恵さん

社会を良くしたいと来る一人ひとりを、全力でサポートする心優しいセンターだと思いました。



松本 美菜さん

誰でも気軽に立ち寄れる場所なので、もっと多くの方に知ってもらいたいなと思いました。



佐藤 史帆里さん

市民の方の“何かを始めたい”という気持ちに応えられる環境で、気軽に立ち寄れる雰囲気が魅力だと思います。



曽根 加奈穂さん

貴重な経験でした。経験を糧に将来の夢に向かって励みます。ありがとうございました。



神原 吉恵さん

市民の方に寄り添うセンターだと感じました。今回の経験を糧に頑張っていきます。

■ NPOアドバイザーによるNPOのための専門講座のご案内 [参加費: 1,000円、要予約]

内容	日程	担当アドバイザー
NPO・人にまつわる税務	11/ 22 [水] 10:00~11:00	橋本 俊也 (税理士)

■ NPOアドバイザーによる個別相談のご案内 [参加費: 無料、要電話予約]

内容	日程	担当アドバイザー
会計・税務	11/ 8 [水] 10:00, 11:30, 14:00, 15:30より各1時間	堀尾 博樹 (税理士・行政書士)
会計・税務	11/22 [水] 11:30, 14:00, 15:30, 17:00より各1時間	橋本 俊也 (税理士)
設立・運営	11/30 [木] 10:00, 11:30, 14:00, 15:30 より各1時間	水野 真由美 (NPO法人ボラみみより情報局アドバイザー)
会計・税務	12/ 7 [木] 10:00, 11:30, 14:00, 15:30 より各1時間	鳥居 翼 (税理士)

講座受講のお申込みは、電話・FAX・メールにて受け付けます。メール・FAXでお申込みの際は、講座名・氏名・電話番号・所属団体・参加動機をご記入ください。名古屋市内で活動しているまたは活動する意志のある個人・団体を対象とします。詳しくは、当センターのホームページ「なごや★ぼらんぼナビ」をご覧ください。

【問合せ・申込先】

名古屋市市民活動推進センター
 TEL: 052-228-8039 FAX: 052-228-8073
 E-mail: npo@shiminkeizai.city.nagoya.lg.jp
 URL: http://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/

スタッフのつづやき

スタッフ: 本郷

色々な業種・職務を経て4月からセンターで主に窓口業務に携わっています。今までNPO・ボランティアにはあまり縁がありませんでしたが、多くの方が活動されているのを目の当たりにし、少なからずカルチャーショックを受けています。毎日毎日が新たな経験値になっています。

